

## 委員長挨拶

ダンス普及事業委員会委員長 玉置 朝啓

皆様 昨年に引き続き全ダ連ダンスフェスティバルを開催するにあたり、我々全ダ連のビジョンである社交ダンスの価値と可能性を広げるためにも、全ダ連ダンスフェスティバルが日本のダンス文化を示す素晴らしい機会となると信じております。

前回スペシャルデモンストレーションに出演頂きました方々には、普及委員会のスペシャルサポーターとして意見をどしどし頂戴し、スペシャルデモンストレーションをより華やかに充実したイベントにしていきたいと思っております。今回は照明にカラーを使い、より工夫する所存です。

全ダ連はプロの集合体ですので、プロアマミックス等を個人戦として行い、そこにアマチュア同士、ジュニア・ジュビナイル等々思い切り張り合っていたきたいと思っております。

年代別チームマッチは、前回ラテン・スタンダード別にチームを組みましたが、今回はラテン C・R スタンダード W・T を 1 チームとして組みます。同一人物がラテン・スタンダードを踊ることも可能です。また 2 人以上で 1 チームを構成していただき、盛り上げていきたいと思っております。

日本は全世界で第 3 位のダンス人口とのことですが、日本国内では全ダ連に第 1 位のダンス人口を集める為に、プロの集合体とその他のダンス人口が必要になると思っております。今回はダンスを知っている人も知らない人でも集えるようなテーマを探り、小林英夫先生にコーナーを作っていただきますのでご期待下さい。

昨年、オリンピック加盟団体 CSIT(コミュニティスポーツインターナショナルトラベル)という名称の、IOC に承認を受けている団体の、第1回 CSIT ワールドダンスフェスティバル 2023(沖縄)に参加して審査をして参りましたが、スポーツ庁をはじめ各企業のスポンサーを受け、盛大にイベントとして成功を収めていました。

全ダ連もこれから色々な方面との繋がりを密にしてダンス人口を集める事、その中にプロとしての意識、地位をしっかりと持っていかなければと思っております、ダンスフェスティバルを開催したいと思っております。